

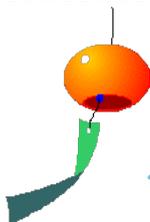


愛護会



公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。

2017.7



夏の愛護会活動



日差しがまぶしい季節になりました。
愛護会活動、暑さに負けず！と頑張りすぎると、熱中症や体調不良になる恐れがあります。暑さが本格化する前に、一度「夏の愛護会活動」を考えてみませんか。

油断大敵

～夏に気を付けたいこと～



熱中症にご注意

熱中症は、梅雨明け後、体がまだ暑さに慣れていない時期や、暑さの厳しい時期に急増します。愛護会活動を、楽しく安全に続けていただくためにも、予防のポイントを活動前に確認することが大切です。

- ★こまめな水分補給
- ★涼しい時間の活動、休憩
- ★通気性の良い服の着用
- ★猛暑日や体調の悪い時は作業をしない

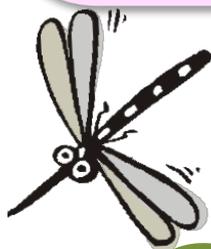
などを心がけていただくようお願いします。

※めまいや立ちくらみ、顔がほてるなどの症状が出たら、熱中症のサインです。一時的に意識が遠く、腹痛などの症状が出る場合もあります。重症となる前に、涼しい場所への避難、水分補給、体を冷やすなどの対応をしましょう。

★自力で水分補給ができないことが医療機関へ搬送の目安となります。

熱中症は横浜市市民活動保険の対象外です。

※横浜市市民活動保険は、ボランティアの怪我や事故を対象とした制度です。事前の加入手続きは不要で、事故等発生時に手続きをしていただけます。



蚊にご注意

蚊を媒介して発生する感染症等を予防するために、公園での活動の際には、蚊に刺されないように、以下の点にお気をつけください。

- ★長袖、長ズボン、帽子などを着用し、肌の露出を減らす
- ★素足やサンダル履きはできるだけ避ける
- ★必要に応じて、虫よけスプレーを使う

蚊啓発チラシ「蚊に気を付けて！刺されない・増やさないために」も併せてご覧ください。

健康福祉局 蚊

検索

夏の愛護会活動

早朝のストレッチ

いつもの活動時間よりちょっと早く起きて、ラジオ体操などのストレッチをすることで、予防、健康増進につながります。



何を

秋からの活動計画

夏は思い切って活動をお休みにし、秋のイベントの企画、愛護会費の使い道、秋に植え付ける花苗の配置など、今後の活動について計画する期間とするのも一つの案です。

活動内容を皆で共有する良い機会になります。



イベント準備の様子

水やり

夏の花壇は、気温が上がる前の早朝から昼、もしくは涼しくなった夕方に水やりをすることがポイントです。一人で毎日通うのは大変なので、メンバーで協力し合うことで継続することができます。



土の中まで乾いたら、たっぷりあげます

道具の点検

中低木などをハサミで刈り込んだ後や草刈機を使用した後そのまままわっていませんか？夏の間は道具類を点検し、秋の活動に備えましょう。



草刈機などは草が絡まったまま放置すると、取り除くのが大変になります。

この時期ならではの！流しそうめん大会 ～鶴見区 東寺尾一丁目公園愛護会の例～

暑さが厳しくなる前の7月に、隣接する地域ケアプラザ・自治会・愛護会共催で行っています。

流しにそうめんを使う竹は、近隣の竹林の地主さんのご寄付です。そうめんだけでなく、提供されたミニトマトを流したり、手づくりの竹の器を提供したりと、ちょっとした楽しみづくりも欠かせません。

愛護会長は「地域住民が一体となることで大きなイベントを楽しんでいます。主催者があらかじめ、子どもでもわかるルールづくり、事前リハーサルをすることで、100人以上でも開催できています。」と、今年の開催に向けて準備を進めています。

夏の風物詩、簡単なものから活動に取り入れていくのもよいですね。



体調を崩しやすい季節こそ「無理のない範囲で」楽しみながら活動しましょう



ラク 楽しんで、楽しむ ウチの花壇づくり

～青葉区 あざみ野三丁目東公園～

公園での花壇を通じた愛護会活動をより活発にしていくための情報共有コーナーです。

大きなバス通りに面し、バス停に向かう人々の通り道としても利用される公園です。

目指しているのは「見通しの良い」安全できれいな公園。多くの人が通るからこそ、季節感のある花を植えつつ、通り道を確保するなどの工夫は欠かせません。いつもきれいな公園には、自然と捨てられるごみが減りました。

花壇は、「きっちりやらなくても、自然にきれい」をモットーに、日かげでも育つ強い品種や多年草を植えています。また、水やりの頻度を減らすために、はまっこユーキ（堆肥）で土の表面を覆う工夫もしています。

試行錯誤を重ねたことで、現在の美しい花壇が出来上がりました。手をかけた花が咲くことで得られる達成感は格別です。



（左上）全体の見通しが良く、すっきりとした印象です。

（右上）多年草を組み合わせた自然風花壇



（左下）土づくりの様子。一気に植替えを行うのではなく、少しずつ作業を進めます。

こんな毛虫にご用心



チャドクガ（幼虫、卵、成虫）
ツバキ、サザンカ、ヒメシャラ、チャなどのツバキ科植物に発生



イラガ（幼虫）
サクラ、ケヤキ、ウメ、カエデなどに発生

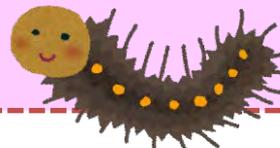
樹木には、チョウやガが卵を産み、幼虫が発生することがあり、一部の幼虫には身を守るための毒素を持つものがあり、知らずに触れると人に被害を及ぼすものがあります。

もし、愛護会活動や公園の利用中にチャドクガやイラガを発見されたら、土木事務所等の公園管理者へご連絡ください。

毛虫の早期発見が、その後の被害防止につながります。

害のない毛虫もあります

嫌われ者の毛虫ですが、毒があるものはほんの一部の種類だけです。公園の利用に影響がない毛虫たちは「自然の一部」ということで、そっとしておいてください。



コーディネーター便り

公園愛護会等コーディネーターは、公園愛護会の活動をお手伝いする、各区土木事務所の専門職員です。活動で分からないことや困ったことなど、お気軽にご相談ください。今回は、金沢区・磯子区の新任コーディネーターを紹介します。

金沢区 千崎コーディネーター



地元の公園愛護会の活動をずっとやってきました。仲間と一緒に清掃・花壇の世話・草取りなど活動する中で感じた達成感やふれあいの喜びを、他の愛護会の皆さんと共有し、またそのお手伝いをさせていただきたいと思います。

縁あって、この仕事に携わることが出来たことに感謝し、この気持ちを忘れず日々努力していきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

磯子区 佐藤コーディネーター



磯子区は海に隣接し、丘と緑、風に恵まれています。数多くの公園で、子どもから大人まで気軽に語りあう姿が、愛護会の皆さんにより維持されています。この姿を未来へ繋げられるよう、皆さんと一歩ずつ努力をしていきたいと思います。

現在、猛勉強中の初老新コーディネーターです。お役に立てるよう努めますので、皆さんどうぞよろしくお祈りします。



↑球根ミックス花壇※1) 愛護会の皆さんのおかげで満開の花で彩られました



↑球根ミックス花壇づくり、ガーデナーの平工先生の講習会では、市民の方も足を止めて話を聞いていました。

第33回 **全国都市緑化よこはまフェア開催**
 2017 3.25[sat]—6.4[sun]
 Garden Nocturne YOKOHAMA 2017

ご協力ありがとうございました

全国都市緑化よこはまフェアは、6月4日に無事閉会式を終えました。公園愛護会の皆さんには、「球根ミックス花壇（横浜市民花壇）づくり講習」「たねダンゴ花壇づくり」「植物管理ボランティア」ほか様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。

今後も公園愛護会通信では、球根ミックス花壇・多年草花壇などの活用方法をご紹介します。



シンボルキャラクター「ガーデンベア」©IT00N/GN2017



↑たねダンゴ花壇※2) では、愛護会の皆さんと地元小学生が一緒につくり、やさしい雰囲気の花壇ができあがりました。



↑山下公園内でも、多年草と球根を組み合わせた花壇を愛護会の皆さんでつくりました。

植え替えの手間を減らしつつ、毎年花が咲く多年草花壇は、愛護会での活用におすすめです。



※1) 球根ミックス花壇…春咲球根を、開花時期をずらしてランダムにばらまくことで、長期間花を楽しむことが出来る花壇です。

※2) たねダンゴ花壇…土ダンゴの中に肥料を混ぜ、花の種をつける簡単なタネまき方法でつくった花壇です。

公園における放射線対応について

市民の皆様がご利用になる全ての公園における放射線量(ガンマ線)の測定結果は、市ホームページで公表しています。また、公園内の堆肥置き場の堆肥については、引き続き、公園内の花壇や植込み等で使用することとし、公園外では使用しないようにお願いします。今後も、国・県の動向や状況の推移を注視しながら、皆様へ情報をお伝えしてまいります。

お問合せ先:横浜市環境創造局 公園緑地維持課 活動推進担当
TEL:045-671-2650 FAX:045-633-9171

横浜市 公園 放射線量

検索

発行/横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1

電話:045-671-2650 FAX:045-633-9171 Eメールアドレス:ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行日(平成29年7月1日)

バックナンバーは、横浜市公園愛護会ホームページから。

横浜市 公園愛護会

検索